

避難者が協力しあい、受入先と共に問題解決

南相馬市原町区にお住まいの山城雅昭（みやま まさあき）さんは、震災後5日目の3月18日に伊達市の伊達ふれあいセンターに自主避難しました。センターの施設長である八巻幸一（やしまち ゆきいち）さんは、山城さんが南相馬市の避難所運営マニュアルを持って入所したことに驚いたそうです。このマニュアルは、実は山城さんが発起人となって作成したものでした。

**リーダーを決めて意見をまとめ、即断即決**

実際の避難所生活においては、山城さんは避難所の副統括として、このマニュアルを念頭に置きながら、集団生活をいかに円滑にするか現場で対応していきました。避難所では100人ぐらいの大部帯を3室に分けて生活していましたが、各部屋にリーダーを決め、その3人や八巻さんを変えて毎日、朝昼晩の3回ミーティングを行いました。



山城雅昭さん(右)と八巻幸一さん

した。「ここでいろんな要望をまとめて言ってくれたのが助かりましたね」と八巻さん。また、山城さんは「毎回、八巻さんが施設長として参加してくれて、その場で要望に対して即断即決で物事が決まっていたのは非常に大きかったですね」と語ります。そして避難所内では、必ず全員が何かの役目をもつ仕組みをつくったことで、一人一人が自ら責任をもつことも上手く機能していきました。

**迷惑をかけないように、毎日感謝の心で生活**

さらに山城さんは、「避難所でのみんなの行動の善い」という行動指針をまとめ、避難者に周知しました。その内容は避難所において、受け入れ先に迷惑をかけないように、こと細かに、集団としての立ち居振る舞い、心の持ちよう、お互いへの敬意など、人として、南相馬市民としての尊敬を促そうとする姿勢と、さらに支援への感謝の思いがにじみ出ています。避難所では毎日いろんな意見があふりますが、時にはリーダーとして毅然とした態度で事にあたったことで、多くの人がついてきてくれたと山城さんは言います。

これからの南相馬市は除染と雇用の問題が最優先と語る山城さんは今後、南相馬市の復興に向けて尽力したいと語っています。また八巻さんは、山城さんの避難所での取り組みを、ぜひ伊達市でも参考にしていきたいと話してくれました。

福島県では、東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓などを募集しています。県歴史資料館（電話 024-534-9220）まで情報をお寄せください。いただいた情報については、あらためて日程を調整し、記録などの収集に伺います。

募集しています

主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 平日：午前8時30分～午後8時 土日祝日：午前8時30分～午後6時	0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	平日：午前8時30分～午後8時 ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施	024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関する事	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 平日：午前9時～午後5時	024(521)7698
	県外に避難した人の相談	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 平日：午前8時30分～午後5時15分	024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 県民健康管理調査事務局 平日：午前9時～午後5時	024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 平日：午前9時～正午、午後1時～午後4時 このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	0120(899)721 フリーダイヤル 024(521)7017